

**入場無料**

定員200名  
事前申込不要

日本気象学会東北支部気象講演会

# 岩手県における 大雨と風の災害

主催:日本気象学会東北支部 共催:盛岡地方気象台、岩手大学「学校気象台」研究会 後援:岩手大学、岩手県、盛岡市

2016年は、台風第10号の影響により岩手県岩泉町、宮古市、久慈市では局地的に猛烈な雨が降り、沿岸北部を中心に記録的な大雨となったほか、東北地方と北海道を中心に西日本から北日本にかけて広い範囲で大雨となりました。この大雨による河川の氾濫等により人命が失われるなど重大な被害が発生しました。本講演会では、この大雨災害を含む岩手県における近年の大雨や風による災害を取り上げ、気象台の発表する防災気象情報の利活用や風の災害と防風林について紹介します。

開催日

**2016年11月19日(土)**

**14:00~16:30** (13:30開場)

場所

**岩手大学総合教育研究棟(教育系)**

**2階 北桐ホール**

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号

## 交通案内

### ■バス利用

盛岡駅前バスターミナル11番のりばから

●岩手県交通バス 駅上田線  
「松園バスターミナル行き」乗車、  
「岩手大学前」バス停下車

●岩手県交通バス 駅桜台団地線  
「桜台団地行き」乗車、  
「岩手大学前」バス停下車

■タクシー利用 盛岡駅から約2km 約10分

■徒歩 盛岡駅から約25分

講演

## 1 岩手県における近年の大雨と防災気象情報

山本 浩之 氏(盛岡地方気象台 予報官)

## 2 岩手県における風の災害と防風林

名越 利幸 氏(岩手大学教育学部理科教育科 教授)

問い合わせ先

2016年度気象講演会事務局

〒020-0821 岩手県盛岡市山王町7番60号  
盛岡地方気象台 (電話)019-622-7870

URL: [http://www.jma-net.go.jp/morioka/html/knowledge\\_kkouen.html](http://www.jma-net.go.jp/morioka/html/knowledge_kkouen.html)



# 岩手県における大雨と風の災害

2016年11月19日(土)

岩手大学総合教育研究棟(教育系)2階 北桐ホール

2016年8月16日から31日にかけて台風第7号、台風第11号、台風第9号及び台風第10号により北日本、東日本で大雨となり、特に岩手県では台風第10号による甚大な災害が発生しました。

また、風による災害は、岩手県では例えば奥羽山脈を越えてくる地峡風によって発生しており、その被害の多くは防風林によって軽減され守られています。

本講演会では、岩手県における近年の大雨や風の災害を取り上げ、気象台の発表する防災気象情報の利活用や風の災害と防風林について紹介します。

## 1 岩手県における近年の大雨と防災気象情報



山本 浩之 氏

盛岡地方気象台 予報官

岩手県では、2016年8月30日に台風第10号に伴う大雨で、岩泉町、宮古市、久慈市など沿岸北部を中心に、土砂災害や洪水による甚大な被害が発生しました。また、2013年8月9日には大気不安定による大雨で、盛岡市、雫石町、紫波町を中心に甚大な被害が発生しました。いずれの災害も、この地域ではほとんど観測されなかった1時間約80ミリの猛烈な雨と、24時間で200ミリを超える記録的な大雨によってもたらされました。これらの大雨を、気象衛星や気象レーダー等の観測データから解説し、気象台の発表する気象情報の防災活動への利用について説明します。



岩泉町乙茂の小本川(2016年8月、国土地理院提供)



矢巾町矢次の岩崎川橋付近(2013年8月)

## 2 岩手県における風の災害と防風林



名越 利幸 氏

岩手大学教育学部理科教育科 教授

北上川に沿う北上平野の防風林の方位を衛星画像から調査し、現地聞き取り調査とともに、奥羽山脈を越えてくる地峡風の特徴について報告します。特に冬季の地峡風が東北自動車道の地吹雪地帯とどのように関係しているのかを取り上げて、その手法として、春先の地吹雪吹走時の高解像度気象シミュレーションによる数値実験結果を踏まえ考察します。また、時間に余裕があれば、岩手の風にまつわる気象現象を紹介します。



ドローンによる矢巾町上空150mから、南東側の防風林の様子



東北自動車道(奥州市付近)、地吹雪の様子